



株式会社エムアンドシーシステム

丸井グループを支えるITインフラのアクセス管理に メインフレーム時代からの実績でCA Access Controlを採用！

流 行に敏感な若者をターゲットに、首都圏を中心に22店舗（2008年9月現在）を出店する株式会社丸井。同社は、営業店を中心に、クレジットカード会社の株式会社エポスカード、商業施設をトータルプロデュースする株式会社エムクリエイツなど、19社で構成される丸井グループの中核企業として、全国出店を推進しながら地域の特性を生かした事業を展開しています。その丸井グループを構成する1社である株式会社エムアンドシーシステム（以下、M&Cシステム）は、1984年に丸井の情報システム部が独立することで設立されたシステム関連企業です。現在、丸井グループの情報システム全般を担当しています。

日々の商売に役立つ単品情報の精度向上や営業の意思決定の迅速化に向けたデータウェアハウス、汎用カード向け情報サービス等を提供するM&Cシステムでは、丸井グループのデータセンターとして300台を超えるサーバ群を管理。24時間×365日、丸井グループにIT関連サービスを提供しています。



株式会社エムアンドシーシステム

設立：1984年9月1日

本社：東京都新宿区新宿5丁目16番8号

資本金：2億34百万円

従業員数：199人（臨時従業員は含まず）

※2008年3月31日現在

URL：www.m-and-c.co.jp

(中央) 株式会社エムアンドシーシステム システムセンター事業部
丸井システム運用部部長 原田泰夫氏
(右) 株式会社エムアンドシーシステム システムセンター事業部
丸井システム運用部 システムプログラム担当 課長 香山正輝氏
(左) 株式会社エムアンドシーシステム システムセンター事業部
丸井システム運用部 システムプログラム担当リーダー 良知 聡氏

システムのオープン化に伴う セキュリティ対策の強化が課題

M&Cシステムでは、2004年に営業・商品系システムの再構築を実施しています。営業・商品系システム再構築では、従来メインフレームで稼働していたシステムをオープン化することが最大の目的でした。このシステム再構築は、2002年暮れ頃から検討を開始し、2003年に仕様検討とインフラ選定が行われ、2004年秋に本番稼働を迎えました。

同社が営業・商品系システムの再構築に至った理由について、システムセンター事業部 丸井システム運用部 部長の原田泰夫氏は次のように話します。「メインフレームの信頼性は高かったものの、2007年問題への対策が必要だったことや、システムの24時間稼働の実現に向けてメインフレームシステムが限界だったこともあり、オープン化が必須でした」

一方、M&Cシステムでは、全社を挙げて情報セキュリティとシステム運用サービスの向上に取り組んでおり、2001年に「プライバシーマーク」、2007年に「ISO27001認証」を取得し、2008年にはITサービス運用の国際



原田泰夫氏

「全社を挙げて
情報セキュリティ強化と
システム運用サービスの向上に
取り組んでいます」

規格「ISO20000」を取得しています。

この取り組みの一環として、営業系システムのオープン化に伴い、データセンターで運用されているサーバ群のアクセス管理に採用されたのがCA Access Control（以下、CAAC）でした。2008年8月現在、同社のデータセンターでは約300台のサーバ群が運用管理されています。そのうち個人情報を取り扱っている約50台のサーバ群にCAACが導入されています。

ますます拡大する個人情報の範囲 CAACでアクセス履歴管理を実現

システムセンター事業部 丸井システム運用部 システムプログラム担当 リーダー、良知聡氏は次のように話します。「基本的には、対象サーバへのアクセス制御や、サーバ内のファイルおよびディレクトリへのアクセス制御など、CAACで提供されている機能はすべて使っています」

「最も重要な機能は、アクセス履歴管理です。現在、CAACで出力されたアクセス履歴をログ管理サーバに保管し、セキュリティ事件・事故が発生した場合には、アクセス履歴の調査により、原因究明や不正アクセスの特定が可能な仕組みを構築しています」（良知氏）

また、システムセンター事業部 丸井システム運用部 課長、香山正輝氏は次のように話します。「以前であれば、個人情報の定義も住所と名前、電話番号程度でしたが、社員情報なども含め、どんどん範囲が広がっているので、それに合わせた対応が必要になって来ています」

サーバのアクセス制御やポリシー設定等の
作業効率を格段に向上させたM&Cシステム

【メインフレーム時代から実績のあるCA製品を、アシストのサポートで採用を決定】

今回、基幹システムをオープン化するためにいくつかのセキュリティ対策製品の比較検討を行いました。このとき実際にシステムの開発者に機能や操作性を検証してもらい、機能や操作性を評価しCAACの採用を決めました。

M&CシステムがCAACを採用したのは、以前より同社のシステム運用を支援しているアシストからこの製品を紹介されたことも、決め手の1つとなりました。同社とアシストとの関係は、メインフレーム時代を含め25年以上の実績があります。

原田氏は次のように話します。「システムのオープン化に伴い、データベースを何にすればよいか、運用管理をどうするかなど、アシストさんの担当者と検討していました。並行してサーバのセキュリティ対策はどうあるべきかを社内でも議論した結果CAACの採用に至りました」

「20年以上前のメインフレーム時代にeTrust CA-ACF2 Securityを導入し、個人情報を中心としたセキュリティ対策を行ったのがCA製品との出会いでした。オープン系に移行したからセキュリティ対策を強化したわけではなく、メインフレームを使っていたときから個人情報保護を中心としたセキュリティ対策についてはCA製品を利用していた実績があったのです」(原田氏)

【サーバ管理の作業負荷を10分の1程度に低減】

原田氏は、CAACを導入した効果について次のように話します。「セキュリティ対策は、トレードオフです。やり過ぎると使いにくくなりますし、足りないと意味がありません。CAACでは、ポリシーに従ってログは取得するが、アクセス制御は行わない“ワーニングモード”でシミュレーションを行ってから本番に移行できるので導入が非常にスムーズでした」

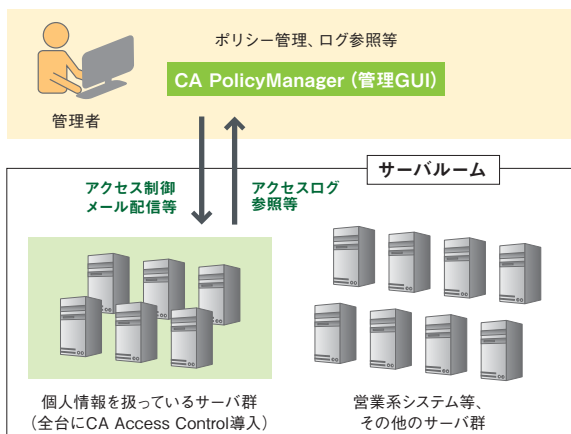
同氏はまた次のように話します。まず、システム開発者に



香山正輝氏

使ってもらったところ、管理用のGUI(ポリシーマネージャ)を利用して複数のサーバにアクセスできる機能も便利でした。さらに、過去に

「アクセス管理についてはCAACだけで十分で、安心して担当者に任せることができます」



eTrust CA-ACF2 Securityを使ったこともあったのでCA製品に慣れているという安心感もありました」

さらに良知氏は次のように話します。「CAACは非常に分かりやすいソフトウェアだというのが印象です。導入当初のバージョンでは、ポリシーの設定にコマンド入力が必要でした。しかし現在のバージョンでは、ポリシーマネージャが搭載されたことで作業負荷が10分の1程度に低減されました。ポリシーマネージャがなければ、約50台のCAAC導入サーバを1人で管理するのは不可能でした」

そのほか香山氏は次のように話します。「昨今の個人情報漏えい事件などもあり、セキュリティ対策における会社の理解、必要性というものは高まってきました。セキュリティ対策に関しては、さまざまな取



良知 聡氏

り組みを行っていますが、特にアクセス管理についてはCAACだけで十分で、安心して担当者に任せることができそうです」

「CAACは非常に分かりやすいソフトウェアだというのが印象です」

【アシストのサポートは高評価 CA製品には今後も大きく期待】

アシストのサポートについて香山氏は次のように話します。「LinuxサーバへのCAACの導入は作業内容が複雑でしたが、アシストさんの担当者による的確なサポートによって短期間で問題を解決することができました」

「アシストの担当者には、以前からセキュリティ製品だけでなく、データベースやシステム運用など、幅広い分野でサポートをしてもらっています。そのため何か問題が発生しても一から説明する必要がなく、最適な製品やサポートを提案してもらえると安心感があります」(香山氏)

信頼性の高いITサービスを丸井グループ各社に提供し続けセキュリティ対策にも前向きに取り組んでいるM&Cシステムが選択したのは、アシストが提供するCA Access Controlでした。

(2008年8月取材)

株式会社アシスト

URL: <http://www.ashisuto.co.jp/>
製品 URL: <http://www.ashisuto.co.jp/prod/acx/>
E-Mail: ics_web@ashisuto.co.jp

- 東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル TEL: 03-5276-5565
- 札幌 〒060-0808 札幌市北区北8条西4-1-1 バストラルビルN8 5F TEL: 011-746-8484
- 仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア11F TEL: 022-713-5802
- 名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル11F TEL: 052-232-8211
- 松本 〒390-0815 松本市深志1-4-25 松本フコク生命駅前ビル6F TEL: 0263-39-1315
- 金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢8F TEL: 076-260-4921
- 大阪 〒530-0015 大阪府北区中崎西2-4-12 梅田センタービル28F TEL: 06-6373-7113
- 神戸 〒650-0035 神戸市中央区浪花町59 神戸朝日ビルディング22F TEL: 078-393-2115
- 広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル3F TEL: 082-224-6170
- 福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九軌筑紫通ビル9F TEL: 092-481-7156
- 沖縄 〒901-2131 浦添市牧港5-2-1 沖縄電力本店別館6F TEL: 098-942-5430

*記載されている会社名、製品名は各社の商標または商標登録です。